

Table with columns for 事務事業名, コード, 内容, 課, 所属班, 電話番号, 基本方針, 施策, 施策の展開, 基本事業, 予算科目, 根拠法令, 会計, 款, 項, 目.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes details on annual cycle, objectives, and implementation flow.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳(費目等) H23実績, ② 延べ業務時間の内訳 H23実績. Lists expenses and labor hours.

Table with columns for 事業費 (財源内訳) and 人件費. Includes a summary row for Total Cost (A+B).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping 手段 (Means), 目的 (Objectives), and 上位目的 (Higher Objectives) to specific activities and indicators with performance data from 2021 to 2026.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か?..., ② 事務事業を取り巻く状況..., ③ この事務事業に対して関係者... from which feedback and environmental changes are reported.

事務事業名	医療福祉・食・交流の郷づくり事業 幽学の里で農水産業体験・交流事業	課名	企画政策課	班名	政策推進班
-------	--------------------------------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？ 交流人口が増加することにより、観光の活性化・消費の拡大に伴う、市民の暮らしの向上につながるものと認識している。
	② 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 好評をいただき、参加団体との関わりが年々深くなっており、参加数も毎年盛況だが、新たな参加団体を募る面では難しい状況である。
	③ 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 事業のやり方次第では、民間(生産者)による実施も可能だが、市が主となり募集を展開していることが参加者の応募につながっている要素が強いのが現状。
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 近隣市と比較すると、その他の収穫体験などメニューは豊富で参加者には好評をいただいている。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ 米づくり以外でのイベントも重要になっており、やり方の工夫、受け入れ側のメニューの適宜更新を図ることで成果は向上する。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 市の観光・産業イベント等との連携、生産者による産地見学(体験)会などの複数実施により更なるPRと活性化が図れる。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 受け入れ体制に見合った参加人数の募集、魅力が落ちない範囲でのイベントや、おもてなし内容の見直し、実施回数の調整等により、経費削減の余地はあると認識している。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 協議会(生産者)への協力者の増員、民間人による実施の可能性が広がれば人件費の削減は可能だが、民間人が運営・協力参加するメリットや楽しみを生み出すことが重要である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 米づくり交流事業でありながら、その他の農家宿泊体験(受入農家は多種)、産地見学(体験)会を実施しており、公平性は保っている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	交流先団体との関わりが年々深くなり盛況をいただいておりますが、交流の広がり(新しい参加団体)の面では課題が残る。今後は見直し余地を改善しながらも、参加者にとって常に魅力のあるイベントを考案していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止																					
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？																				
①道の駅開設までには、現在の圃場にこだわらずに米づくり交流事業の拡大を図る。 ②米づくりを発端に、参加者が様々な消費につながるしくみづくり。 ③イベントの魅力が落ちない範囲での経費削減が可能か精査を図る。 ④		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上		○		維持				低下			
成果	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上		○																			
維持																					
低下																					
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					
①特定の団体のみならず、幽学の里あるいは道の駅イベントとして楽しみのある交流をしたい。 ②運営を民間へシフトするための方策と協議会の自立促進(意識改革)。 ③運営する協議会員が自発的に事業参入するメリットや楽しみづくりの研究。 ④																					